

あいち航空ミュージアム

さらなる
発展を期待

あいち航空ミュージアムがオープンして1年半が経過した。初年度は50万人の来館者でにぎわい、多くの親子や航空ファンが航空機産業の歴史を学び、展示物を見て、触れて、楽しいひと時を過ごした。

あいち航空ミュージアムには3つのコンセプトがある。それは①航空機産業の情報発信、②産業観光、③人材育成。その中で特に力を入れてきたのが、子どもを対象とした人材育成である。職業体験が大きな特徴の一つで、子どもたちがパイロット体験やキャビンアテンダント（CA）体験、整備体験など、仕事を体感できた。アンケートに将来パイロットになりたいとの声もあり、子どもたちが空への夢を膨らませた。



トピックス TOPICS

3月定例会

質疑・討論

トピックス

一般質問

あいち航空ミュージアムがオープンして1年半が経過した。初年度は50万人の来館者でにぎわい、多くの親子や航空ファンが航空機産業の歴史を学び、展示物を見て、触れて、楽しいひと時を過ごした。

今後は、グランドスタッフ、管制官、マーシャラー（誘導員）など、新たな職業体験やMRJの展示をしていきたいとのこと。さらなる発展を期待する。

ミュージアムの魅力の一つがボランティアの存在だ。ボランティアの中には、整備士、設計、飛行機の営業マン、パイロット、CAなど多彩な人たちがいる。それぞれが自分の知識や経験を来館者の人たちに伝えている。

